

担当：青山敦

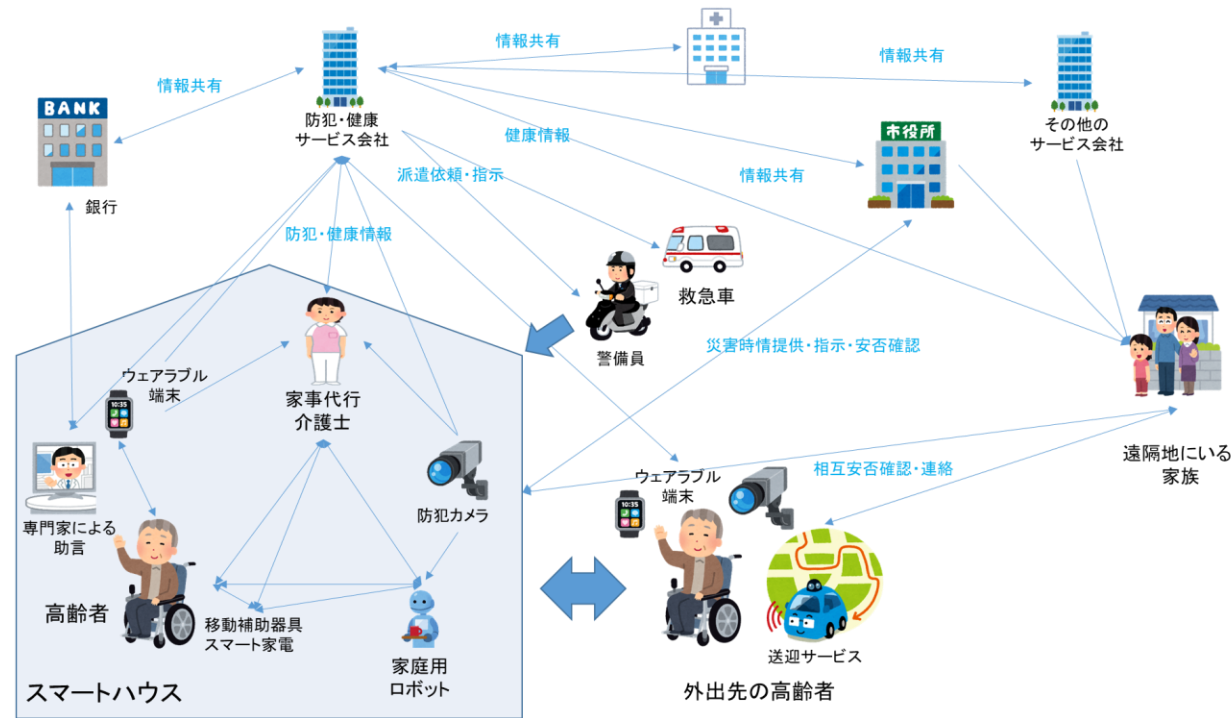
立命館大学大学院  
テクノロジー・マネジメント研究科教授



# ICTの価値を 探求し デザインする！

RGIRO次世代人工知能と記号学の国際  
融合研究拠点プロジェクト（PL：谷口  
忠大情報理工学部教授）にグループ4  
「未来のAI社会」リーダーとして参加  
して、ICTを活用した見守りプラット  
フォームの研究をしています。

特殊講義（共通専門）  
前期 月曜3限 R302教室

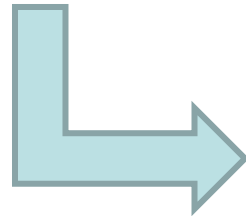


活躍するエンジニアになるため  
には、技術を社会問題とむすび  
つけ、新しいサービスをデザイ  
ンする能力が必要。  
価値の探究⇒サービスデザイン  
⇒ビジネスモデリング⇒技術的  
可能性評価までをグループワー  
ク形式で学べます。  
プレゼンテーション力も鍛えら  
れます。

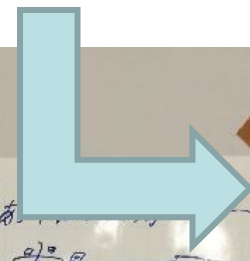
詳しくは下記までお問い合わせ下さい  
[aoyama@mot.ritsumeai.ac.jp](mailto:aoyama@mot.ritsumeai.ac.jp)

ICT×  
デザイン×  
社会

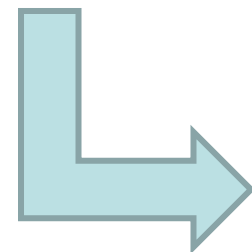
アイスブレイカー  
みなさんが面白いと思う技術・ガジェット・サービス・出来事など、みんなに伝えたいことを一人5～10分でプレゼンしていただきます。  
どこがおもしろいのか？ なぜおもしろいのか？



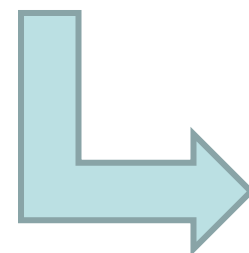
ICTサービスの提案  
医療／農業／サービス／介護／教育／保育／輸送／交通など社会のいろいろな場面での課題を解決するための、ICTを活用したサービスを2人1組で提案していただきます。



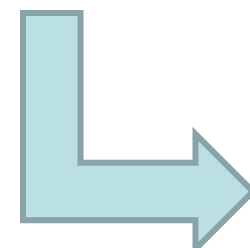
サービスデザイン  
みなさんが提案したサービスからいくつかを選び4人程度のグループで、シナリオグラフ、顧客価値分析、TRIZなどのデザイン手法を駆使して、ブラッシュアップしていきます。



ビジネスモデル作成  
サービスは事業として持続可能でなければいけません。デザインしたサービスについて、持続可能になるビジネスモデルをビジネスモデルプラットフォームを使って作っていきます。



技術的実現可能性の評価  
技術要素分解法を使って、サービスに必要な技術が何かを抽出して、その実現可能性を企業や大学の研究者へのヒアリングなどで評価していきます。



ファイナルプレゼンテーション  
サービス・ビジネスモデル・技術的可能性についてプレゼンテーション作成、プレゼンテーションしていただきます。

